



第 44 号

昭和41年1月5日印刷
昭和41年1月10日発行

発行所
宇都宮市旭町1-3, 427
宇都宮商工会議所
電話(0)3,071 3,072
3,073 3,074番

編集者兼
発行者 藤生善之助
印刷者 秋場栄吉
宇都宮市旭町2丁目
印刷所 三共印刷株式会社
電話(4)4,106番(代)

年 頭 所 感

日本商工会議所会頭 足立 正

昭和四十一年の新春を迎え、お慶びを申しあげます。

今年こそは日本経済が長い間の停滞を脱して上昇へ転ずることを期待したいものですが、現状では必ずしも景気に浮揚力がついたとは考えられません。現在の不況については高度成長ムードに酔い、量的拡大偏重と過当競争に走り過ぎた企業の責任に帰せられるべき点が少なくないことは認めなければなりません。従って企業は自主調整に努め、またムダ排除等合理化努力を真剣に進めなければならぬことは申すまでもありません。これは企業の自己責任というべきでありまして、政府の施策にのみもたれ掛るような態度は自主性を欠くものと申さなければなりません。

しかし、不況がこうも広く根深くなったことについては政府にも一半の責任があると言わなければなりません。即ち、税の自然増収の圧倒的大部分を財政支出の拡大に振向けて減税に対する努力を怠ったため、企業体質の脆弱化に拍車をかけたことや金融引締の緩和をはじめとする景気対策のタイミングによるしきを得なかった点であります。今回の不況に対しては、企業は自己責任を、政府は政策責任を自覚してその克服に努めるべきであると思います。

景気を浮揚させるにはどうすべきでしょうか。政府の政策態度には当初から、「自律回復が健全な姿であり、政策的に景気を刺激することは物価等に影響して、問題を後に残すことになる。従って自主調整による自律回復を期待する。」という考え方が根底にひそんでいたように思えますが不況の現状認識が甘いように思えるのであります。自主調整の実施は業界全体の需給バランスの回復と不況の底固めに役立つと思いますが、反面、減産が減産を呼び、縮少均衡をきたすというマイナスの面もありますので、自主調整だけによつては景気の回復は期待できないと思えます。

現在の日本経済は需要過少の状態にあると考えられます。殊に中小企業では注文が減ったとか仕事がなくなつたという悩みをよく聞くのであります。現状では今年の設備投資の伸びはあまり期待できず、また最近の企業の操業状態等からみて個人所得、個人消費の伸びも大きな期待はできないようです。従つて財政経済政策によつて有効需要を追加造出することが景気回復策の本命と言ふべきでしょう。

う。有効需要を適当な水準に保つことは政府の政策責任といわなければなりません。政府は不況の現実をよく認識し大幅の減税と公債発行による住宅等公共投資の拡大に踏み切るとともに、輸出の需要拡大効果にかんがみ、その振興には一層意を用いて貰いたいと思います。

有効需要を追加造出すれば、ある場合には物価上昇を随伴することもありますが、物価上昇を相殺するために大幅の減税を実施し、物価上昇による国民の負担増の調整をはかるべきであると考えます。大幅減税はこのような調整と有効需要造出の一石二鳥の効果も期待されます。物価問題を物価だけで解決しようとするのはムリで、総合経済政策の中で解決をはからねばならないと考えます。

公債発行については、建設公債、市中消化の原則等による歯止め手段もあることだし、経済の現状からみて懸念するようなインフレ状態は考えられないと言つてよいでしょう。戦時公債の苦い経験の記憶から心配している向きもあるようですが、いささか「あつものに懲りてなますを吹く」感じがしないでもありません。

勿論公債発行に伴い、財政政策と金融政策を従来より一層緊密に連繫させることが必要であり、両々相俟つて景気の回復と経済の安定成長をはかるべきであります。

有効需要の追加造出が国際収支に及ぼす影響についても考えねばなりません。世界貿易は低開発国の購買力不足等に若干の問題があるにしても、ほぼ昨年に近い伸率を示すものと思われ、わが国の貿易収支も昨年とほぼ同じ程度の黒字が期待せられております。昨年は資本収支の赤字が相当ありましたが、これは以前の借金の元利支払いが集中したとか、輸出ユーザンスがふえた等の結果によるものであります。国際収支面で先進国型に近付いたとも言えるわけであり。今年の国際収支は、とくに重大な事情の変更のない限り昨年とほぼ同様に推移するものと思われ、それ程心配はいらないようです。しかし、国際収支の改善には常に意を用いなければなりませんので、輸出の振興と計画造船の推進にはなお引続いて努力を払うべきでしょう。

おわりに一言いたしたいことは、この際経済界は日本人の能力と日本経済の底力について自信をもち、萎縮沈滞の

ムードを一掃し大いに自主独立の精神、創造的、開拓者的精神を發揮して貰いたい事であります。企業はもつと新技術新製品の開発や新市場の開拓等を活発に行なうべきであります。しかし企業活動については節度と責任をもつべきであります。これによって同業者間、親企業、下請企業間等に話し合いによる秩序がつけられるべきであると思ひます。

年 頭 の 辞

栃木県知事 横 川 信 夫

宇都宮商工会議所会員の皆さん、新年おめでとうござい
ます。

我が国の経済は昭和二十五年以来高度成長を遂げて参りましたが、昭和三十四年からの所謂岩戸景気によって企業の間設備投資が顕在化したので、景気の過熱化を抑制するため昭和三十八年から金融引締政策がとられ、その結果は企業及び消費者に対し有効需要の停滞を促し、経済不況を醸出するに至ったのであります。

そこで国においては昨年初頭に景気調整を図るため、金融緩和へと政策の転換を行なったのであります。なお幾多の問題を残し、昭和四十一年を迎えたわけであり、健全

かかる意味において本年は、中小企業にとって非常に重要な年であり、企業の経営の合理化、近代化を図り、健全

新年のことば

宇都宮市長 佐 藤 和 三 郎

みなさんあけましておめでと、うございませう。

昨年は経済界の不況の波に心も沈みがちでしたが、本年は午年、縁起をかつぐわけではありませんが、かん馬の如く飛躍の年でありたいと思ふ次第です。

本市は明治二十九年市制を施行以来、今年で七十年目を迎え、ますます発展の途をたどっております。

ご存知のとおり、昔から商業都市として栄えてきたのでありまして、この七十年の歴史も又、今日の繁栄も商工会議所のご協賛、市民各位のご協力がなくては望めなかつたことと思ふのであります。

最近、本市に銀行の進出が非常に多くなってまいりました。

新年のご挨拶

宇都宮商工会議所会頭 保 坂 正 七

ここに本市々制七十周年に当る昭和四十一年の輝かしき新春を迎えお慶びを申し上げますと共に、決意を新たにしてお地商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に寄与して参りたいと念願するものであります。

さて昭和四十年を顧みますと、経済の高度成長による景気の過熱防止施策が強く講ぜられ、その結果は深刻なる不況を招来、企業倒産の続出を見るなど、景気の停滞を現出し、再び景気刺激策を講ぜねばならぬ景況となる等、曲折

さらに政界に対しても理性と節度によって政治の姿勢を正すよう要請したいと思ひます。今後公債発行を伴う財政が実施せられる場合、公債発行の歯止めについて種々の手段を講じなければなりません。窮極においては政治家の心構え、政治の姿勢の問題に帰するものと考えるのであります。

な経営基盤を確立して安定成長へと脱皮して行かねばならない年でもあります。

このような経済環境にあつて業界の皆様には、それに即応した新しい経営意識を持って、企業繁栄の途を開かれるよう希望するものであります。

私といたしましても国の施策と相俟つて、中小企業構造の高度化を図るための諸施策を強力に推進して参りたいと存じます。

年頭に当り所感の一端を述べ、皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

昭和四十一年の新春を迎えるに当り業界の発展を祈りますと共に、皆様のご健康を祈りごあいさつといたします。

た。市の発展は銀行の数に比例するなどとはしほし耳にいたしますが、実際に流通の多いことを示すことでありまして、よろこばしいことと存じます。

現在、市では下水道終末処理場の運転開始、第二し尿処理場の着工、さらに塵芥処理場も最新式なものを建設するため考究中であり、大きな市民の問題も日ならず解決されて、快適な環境づくりがなされることと存じます。

何卒みなさん方にも、街づくりのために、さらにさらにご協力くださいますようお願いいたしますと共に、新年に当りご健康とご多幸をお祈りして、ごあいさつといたします。

多く、商工業にとり極めて多難の年であつたと存じます。

当商工会議所はこの間に処し、政府関係方面に対しては関東商工会議所連合会並に日本商工会議所を通じ、これが打開策として、企業大減税、金融緩和並に貸出の実質金利引下げ、住宅道路等建設を中心とした公共投資の拡大等、倒産防止と景気回復のための施策に対し、積極的な意見活動を行なつた一面、県並に市当局その他の関係筋と緊密なる連絡をとり、これ又中小企業の振興対策にキメ細かい努力を傾倒いたしました結果、本県においては不況とは申せ

特筆すべき事態もなく終始し得ましたことは、洵に御同慶に存ずる次第であります。

然し乍ら今次の不況は、政府の積極的な景気対策により最底辺より脱脚したとは申せ、当会議所管内の中小企業にも根強く浸透し、深刻感を払拭し得ぬ現況にありますので本年は政府の積極的な景気対策と相俟って、会議所機能の総力をあげ、不況克服に最大の努力を傾倒し、特に一、産業経済の動向、景気回復の推移を迅速正確に把握しその時流に先行した適切な施策を積極的に行ない、地域経済の繁栄を図り、市勢の振興に大きく寄与して行く。

二、宇都宮広域都市建設に対し、基本的各般の緊要事項を積極的に調査研究し、その推進に努力し、以って市当局に協力して行く。

一、商工業の振興を図るため、経営の近代化、合理化に関する事業を推進し、以って生産性の向上と流通の円滑化を期し、中小企業の愈々の繁栄と発展を図る。

等を根幹に、会議所活動を活性化し、会員の英知と先見の明による声を結集し、積極的に施策を推進し、負荷の使命を遂行して参る所存でありますので、会員各位におかれても企業の社会的責任を自覚され、経営モラルを重んじ、思い切った体質改善を断行し、その内部充実に万全を期せらるゝと共に業界の結束を一段と強化し、着実なる繁栄発展に邁進せられんことを希望してやまない次第であります。

以上年頭にあたり所信の一端を申し上げ、新年のご挨拶と致します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昭和四十一年元旦

宇都宮商工会議所

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 顧問 | 横川信夫 | 常議員 | 青木源吉 |
| 佐藤和三郎 | 坂本久吾 | 福田俊次 | 福田俊次 |
| 福島悠峰 | 箕輪忠次郎 | 小倉鉄蔵 | 小倉鉄蔵 |
| 大谷正夫 | 設楽高治 | 斎藤五一 | 斎藤五一 |
| 上野小七 | 鈴木善助 | 坂井敏雄 | 坂井敏雄 |
| 飯島守 | 横倉良夫 | 杉本博 | 杉本博 |
| 大野陽一郎 | 後藤喜一郎 | 渡辺三男 | 渡辺三男 |
| 野沢英一 | 鈴木良一 | 中村芳夫 | 中村芳夫 |
| 増井靖 | 植木芳太郎 | 松本善次郎 | 松本善次郎 |
| 下平実 | 笠原正一郎 | 宮本賢吉 | 宮本賢吉 |
| 松本好直 | 野中辰吉 | 中村利雄 | 中村利雄 |
| 米津正一 | 上野修二郎 | 木村明 | 木村明 |
| 保坂正七 | 入江庫介 | 増村 | 増村 |
| 小林洋 | 笠間靖一朗 | 安中房司 | 安中房司 |
| 河合長一郎 | 福田新一 | 河合健治 | 河合健治 |
| 高橋栄作 | 渡辺貞一郎 | 赤塚毅 | 赤塚毅 |
| 荒牧春三郎 | 荒井祐治 | 田代博 | 田代博 |
| 藤生善之助 | 見当邦雄 | 山崎徳雄 | 山崎徳雄 |
| 石海勇次郎 | 岩田敬 | 藤崎清吉 | 藤崎清吉 |
| 小保方光三 | 竹石丑松 | 木村清繁 | 木村清繁 |
| 渡辺愛司 | 上野美治 | 田中精次 | 田中精次 |
| 粕谷松一郎 | 篠崎一郎 | 増中寅夫 | 増中寅夫 |
| 田辺正平 | 岡川菊造 | 築中郁夫 | 築中郁夫 |
| 野沢卯三郎 | 亀田豊房 | 鈴木勤次郎 | 鈴木勤次郎 |
| 柳田広 | 田嶋光男 | 小勝重 | 小勝重 |
| 福田松兵衛 | 畑邊数衛 | 羽石成一 | 羽石成一 |
| 福田富次郎 | 渡辺長造 | 岡本喜一 | 岡本喜一 |
| 鮎田昇平 | 田野辺藤一郎 | 萩原行男 | 萩原行男 |
| 小花末吉 | 増淵良吉 | 五味啓四郎 | 五味啓四郎 |

日商常議員会において 各種の意見要望等議決さる

過般の日本商工会議所常議員会において、次の案件が議決され、政府並に関係当局宛、それぞれ意見具申並に要望されることになった。

いづれも中小企業者にとって、関心深き問題のみですが、(一)(五)を割愛、(一)(四)の問題を掲載してお知らせ致します。

記

- (一)、国会に対する声明
- (二)、税務行政の簡素化、効率化に関する意見
- (三)、国鉄運賃改訂に関する意見
- (四)、小口混載貨物の輸送改善に関する要望
- (五)、輸出検査料低減のための要望

国会に対する声明

現在、国会は日韓条約批准問題に端を発して、全く空白状態にあり、見るに忍びない醜状を露呈している。国会議員は党利党略におぼれ、その唯一の職務である国政の審議を放棄し、多大の国費を空費しつつある。

しかるに、経済界においては、経営者は日夜不況克服に最大の努力を払いつつあるにもかかわらず、景気の好転は見られず、企業活動は萎び沈滞し、中小企業の倒産は依然としてその止るところを知らない状況にある。

よって各政党は、一日も速かに国会正常化の下に審議を開始し国民の国会に対する不信を払拭するとともに、政府においては全力を傾注して不況克服の施策を強力に遂行することを期待する。

右声明する。

国鉄運賃改訂に関する意見

日本国有鉄道は経営状態の改善と第3次長期計画遂行の

御 贈 答 に

フレッシュで特色のある

和菓子・洋菓子

菓子と食堂、食料品
味のデパート

マスキ

相生町本店 TEL 3-1391 (代表)
江野町店 TEL 4-9156



ために、実収増約二割五分の大幅な運賃値上げを実施しようとしている。

国鉄の現状からみて、過密ダイヤの改善、幹線輸送力の増強、保安対策の強化を主な内容とする第三次長期計画の遂行が必要であるのは何人も異論のないところである。

しかしながら、貨物運賃の大巾な改訂が不況下生産費の低減、経営の合理化に懸命の努力を払っている産業界に与える影響は極めて大きく、しかも今回の改訂に当って貨物運賃制度の基本的な改正を併せ行なうこととしているため商品の種類によっては値上げ率が著しく大きくなり、深刻な打撃を与えるものがある。

よって、運賃値上げの実施に当っては、あらゆる措置を講じて値上げ率を最小限に止めることとし、とくに左記事項について格別の配慮を加えられるよう強く要望する次第である。

記

- 1、運賃の値上げ率をできる限り低減するため、つぎの措置を講ずること。
 - イ、国鉄経営の合理化を徹底的に遂行し、コスト低減をはかること。
 - ロ、政府は国鉄に対し、第三次長期計画の期間を通じて毎年相当額の出資を行なうとともに、財政投融资を飛躍的に増額すること。
 - ハ、国の政策にもとづく国鉄の公共負担に対し国が必要な補償を行なうこと。
- 2、貨物運賃値上げと同時に知られる制度上の改正については、急激な影響を避けるため、つぎの措置を講ずること。
 - イ、現行貨物等級制度の改訂により、原材料や低価格貨物に対する影響がとくに大きいので、これを緩和するため貨率種別および貨率指数について最低の一段階を追加する等さらに検討を加えること。
 - なお、貨物等級制度を貨率種別に移行するに当って現行の等級表をそのまま採用しているが、事情の変化に応ずる必要な組み替えを行なうべきである。
 - ロ、運賃計算重量制度の改訂にともなう重量階梯率が、小型車の使用に著るしく不利となっているので、なお相当数の小型車が使用されている実情にかんがみ、重量階梯率の上げ幅を緩和すること。
 - ハ、貨率地帯の刻みの改訂は、運賃値上げ巾を拡大し、区間によって大巾な値上げを招来することになるので今回はこれを見送ること。
 - ニ、小口扱の特別料金の廃止は約四六%の大巾な値上げとなるので、特別料金適用の品目について緩和の措置を講ずること。
- 3、景気の回復が遅れている現状にかんがみ、値上げ実施の時期についても、さらに慎重な配慮を加えること。

小口混載貨物の輸送改善に関する要望

日本国有鉄道は、昨年十月一日から小口貨物の輸送につ

いて輸送基地の設定と全面的な混載車扱の制度を採用したが、新制度への移行に当って、これに応ずる態勢の整備が極めて不十分であり、そのため、多くの地域において甚だしい遅配を招来し、荷主に重大な打撃を与えているのは誠に遺憾にたえない。

よって、輸送基地の再検討、輸送ブロック内の集荷配達の改善、基地施設の拡充等、すみやかに小口貨物輸送態勢の整備をはかるとともに、貨物の幅輳に対処するため、応急の措置を講ずるよう要する次第である。

恒例「新年名刺交換会」

婦人会館にて華やかに開催

すがすがしき初春の行事である、恒例の新年名刺交換会は、本年も例年のとおり、宇都宮市並に当所との共催にて一月一日、午前十一時より、栃県婦人会館大ホールにおいて、市内各界を代表される名士の方々、三百有余名の参会者を迎え、華やかな新年祝賀の宴が開かれた。

参会者一同更始一新の生気をもって、新たな年の賀詞をなごやかにかわすと共に、お互いの健康と事業の繁栄を心から寿おぎ、厳粛の中にも、最大のよろこびを尽し、極めて意義深きものがあつた。

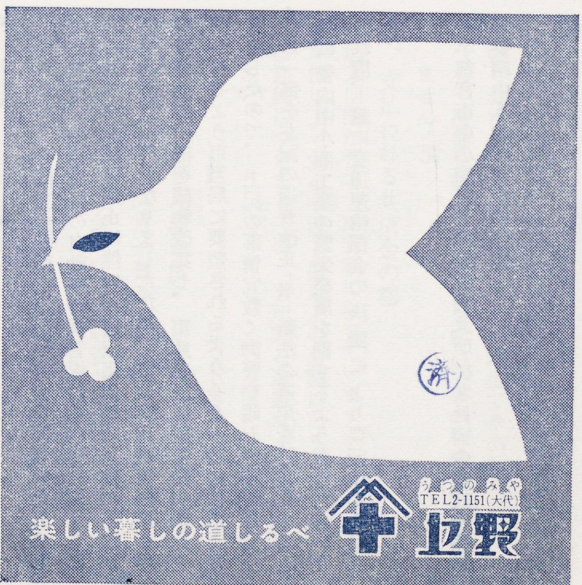
日商だより

第一二四回常議員会開催

- 一、日時 40・11・18日（木）14時～16時
- 二、場所 国際会議場
- 三、出席者 当所より藤生専務理事出席
- 四、報告事項
 - (1) 昭和40年10月業務概要報告
 - (2) 昭和40年11月・12月事業予定報告
 - (3) 第22回税制委員会よりの報告
 - (4) 第31回貿易委員会よりの報告
 - (5) 第44回経済政策委員会よりの報告
 - (6) 第8回目米市長および商工会議所会頭会議に関する件
 - (7) 昭和40年度秋の叙勲に関する件
 - (8) 全国商工会議所業務概況報告（40年5月分）
 - (9) 全国商工会議所共済会業務報告
- 五、協議事項
 - (1) 国鉄運賃改訂に関する件
 - (2) 小口混載貨物の輸送改善に関する件
 - (3) 税務行政の改善に関する件
 - (4) 輸出検査料低減に関する件

第一二五回常議員会開催

- 一、日時 40・12・15日（水）13時～15時
- 二、場所 第1・第2会議室



三、出席者 当所より藤生専務理事出席

四、報告事項

- (1) 昭和40年11月業務概要報告
 - (2) 昭和40年12月・41年1月事業予定報告
 - (3) 第3回産炭地域振興協議会よりの報告
 - (4) 第2回日韓経済特別委員会よりの報告
 - (5) 第32回貿易委員会よりの報告
 - (6) 商工会議所報サービスに関する件
 - (7) 全国商工会議所業務概況報告（40年6月分）
 - (8) 全国商工会議所共済会業務報告
 - (9) その他
- 五、協議事項
- (1) 会費減免に関する件（福井県大野商工会議所）
 - (2) 輸出振興政策に関する件
 - (3) 産炭地域振興に関する件
 - (4) 日韓貿易会談に関する件
 - (5) 昭和40年度叙勲・国家褒章受賞者に対する賀状および記念品の贈呈

第二回栃木県商工会議所議員大会

栃木会館にて盛大に開催さる

県下経済界の当面した問題を、研究討議することによって、県経済の振興と発展に資することを目的とせる、栃木県商工会議所連合会主催による本大会は、昨年引続き、十一月九日、午前十時三十分より、栃木会館小ホールにおいて、県内九市のブロック、各地商工会議所の議員三百四十五名が参集、中小企業片長官代飯島事務官ほか多数の関係来賓を迎えて盛大に開催された。

大会は当所藤生専務理事の司会により、大田原商工会議所橋本会頭の開会の辞に始まり、保坂県商工会議所連合会長病欠のため、吉沢副会長の大会委員長としての挨拶に続いて、県内各会議所推薦功労役員議員（当所小保方・設楽・福田（松）常議員、笠間・福田（新）議員）並に同永年勤続

優良職員（当所小川事務局次長・木村・榎原職員）の表彰が行なわれ、来賓名士の祝辞ありたる後、吉沢副会長議長となり、直ちに各地会議所の次のような提出議案の各議題ごとに、参集議員の意見討論が終始真剣に行なわれ、議長採決によって全議案を採択、それぞれ各要路について陳情・要望などの具体的運動を推進することを万場一致協議決定され、全議案を終了、鹿沼商工会議所高内会頭により力強い大会宣言（別項）を可決、小山商工会議所塚原会頭の閉会の辞を以て、午後二時三十五分意義深き大会を終了した。引続き野田経済研究所専務理事、経済評論家野田功先生の「景気の先は見えた、経営者の心構え」と題しての講演を熱心に聴講、午後四時散会した。

各会議所提出議案

- (一) 工場アパート譲渡制度の実現促進について（宇都宮）
- (二) 商工会議所の行なう小規模事業指導費に対する補助金について（足利）
- (三) 国鉄小口混才貨物制度措置要望について（栃木）
- (四) 県内主要道路の改良舗装促進について（鹿沼）
- (五) 商工業総会指導センターの設置について（佐野）
- (六) 経営改善普及事業体制の確立と県連合会の強化について（日光地区）
- (七) 罹災地区商工業者に対する災害復興資金並に運転資金融資制度創設について（大田原）
- (八) 国道50号線思川に架橋の観覧橋歩道（人道橋）建設要望について（小山）
- (九) 信用保証協会の信用保証業務拡充強化要望について（真岡）

緊急提案

- (一) 百貨店法に基づく意見具申機関の設置要望について（鹿沼）

宣 言

高度成長から安定成長経済への移行に伴う「ひずみ」是

一流メーカー50社と
特約代理店契約

**工作機械と
機械工具**

総合商社
アラマキ （株）

Miyajimacho Utsumomiya
TEL.(0286) 2-4245 代表

正のため佐藤内閣は、公定歩合の引下げ、金融緩和等の一連の景気刺激策を実施し不況の克服に懸命の努力を払いつつあるが、好転のきざしは見えず、不況感は益々増大している。

この時に当り、吾々商工会議所議員一同は一致団結、自らの力による不況突破に邁進する決意を新たにすると共に県並びに政府関係機関に対し景気回復策として次の施策を速やかに実施するよう要望する。

記

- 一、公債発行による住宅道路等の公共投資の拡大
 - 一、国税・地方税を通じ大幅減税の断行
 - 一、財政投融资の拡大と実質金利の引下げ
 - 一、本議員大会議決事項の即時実現
- 以上宣言する

昭和四十年十一月九日

第二回栃木県商工会議所議員大会

自家用自動車車庫の建設資金

融資について要望書提出

先般開催の当所交通運輸部会において、標記の案件が議決され、次のとおり市当局宛要望書が提出されました。

- 宇都宮市融資制度の中融資条件の一部追加改正につき要望

拜啓 初冬の候益々御清栄のこと慶賀申し上げます。当所の運営につきましては平素格別の御高配を辱ういたし居り誠に有難く深く感謝申し上げます。

さて、今次の深刻なる経済界の不況は当会議所管内の産業面にも根強く浸透し、企業経営上種々なる苦難を醸出いたし居りますが、この間にあって宇都宮市の融資制度もたらず恩恵は極めて偉大でありまして、中小企業の繁栄と発展に大きく裨益いたして居りまして唯々感謝の至りでございませぬ。

つきまして今回当会議所交通運輸部会を開催いたしましたところ、先般施行の自動車の保管場所の確保に関する法律により路上駐車禁止に伴い、自家用自動車々庫の設置が絶対的必要条件となりましたため、宇都宮市融資制度の中融資条件の一部を緩和改正し、車庫新設に対し融資の途を開かるよう市当局に要望されるよう全会一致の決議となりましたので、上記の事情宜敷く御賢察賜わり標記融資条件の一部を左記の通り改正し、新法の運用を円滑化すると共に管内中小商工業の繁栄発展を期するようお取計らい下され度、茲に交通運輸部会の決議により要望申し上げます。

記

宇都宮市中小商工業施設改善及び従業員宿舍健設資金融資要綱中5の(2)資金の使途

店舗又は作業場の次に「自家用自動車々庫」を加えらるる度

◎小規模企業経営者に明るい将来を約束する
 待望の共済制度いよいよ十二月一日より発
 足す

一、本制度の趣旨

この制度は小規模企業経営者が、老後引退したとき、役員を退いたとき、またはその事業をやめたときの、国の共済制度です。

従業員には、失業保険や厚生年金保険または中小企業退職金共済制度が、離職後の生活を保障します。同じように経営者にも生活の安定をはかり、事業の再建や転業をするための資金が必要です。

その為に昭和四十年から国が始めた経営者のためのただ一つの共済制度です。

二、この制度の特色

国庫の補助があります。

事業団の事務費は、国の費用でまかなわれますから一般の保険にくらべて、それだけ割安になり、利回りも有利です。

共済金の支払をうける権利は、他の保険のように、抵当権者や債権者などに先取りされず、直接本人（死亡の場合はその遺族）に確実に支払われます。

財産づくりの基本は、元金の安全性。その点、この制度は全額政府出資の「小規模企業共済事業団」が運用しますから、ぜったい安全。しかも将来の高い利回りも保証されています。

加入者の方は、その必要な事業資金について将来還元融資が受けられます。

掛金は、生命保険と同様、税法上の所得控除が受けられます。

三、加入資格と申し込みの手続き

一、常時使用する従業員の数が20人（商業・サービス業では5人）以下の企業の事業主、会社の役員または企業組合の役員であれば、だれでも加入できます。もちろん、自分1人で事業を営んでいる方や、家族だけを使っている方も含まれます。

また、加入後に従業員の数がふえて、この人数をこえてもかまいません。

2、掛金の額は、1口月額五百円、1人で10口まで何口でも自由に加入できます。また、途中から増額することもできます。掛金は、毎月分を翌月の末日までに、中小企業団体が、お近くの金融機関に払い込んでください。

お申込用紙は当所にありますし、その事務の取扱いを致しますので、御連絡下さい。

四、共済金の支払い

共済金は、つぎのような場合に支払われます。

- (1) 掛金を三〇年納めたとき。
- (2) 掛金を二〇年以上納めた方が、満65才以上になったとき。

(イ) 事業主が事業をやめたとき（死亡の場合を含む）会社の解散などで役員をやめたとき。
 (ロ) 会社の役員が、解散以外の理由でやめたとき、ただし、掛金を納めた月数が11カ月以下の場合には支払われません。

五、支払われる共済金の額

加入期間が長い方が有利になっています。20年では元本の2倍以上、30年では3倍以上の金額になります。

◎詳細につきましては、当所宛て遠慮なくお問い合わせ下さい。

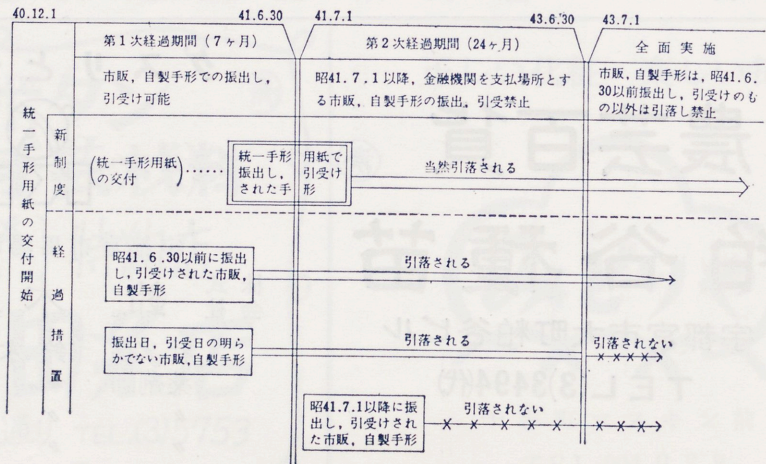
統一手形用紙制度

十二月一日から実施される

全国銀行協会連合会では、大蔵省からの要請もあり、また、信用取引の純化を図り、不渡手形の発生を防止する見地から、昨年来統一手形用紙の制定について種々検討されていたが、いよいよ昨年の十二月一日から、この制度を実施することになりました。

その経過措置のあらましは、左図のとおりです。なおご不明の点は、最寄銀行にお問い合わせ下さい。

図解 統一手形用紙の制度にかかる経過措置（当座預金口座をお持ちの場合）



当所の動き

(一) 商店街診断報告会

一、とき 40・11・1日 19時~21時30分
 一、ところ 第1会議室

- 一、主催 当所並に宇都宮市
- 二、内容 オリオン通り商店街診断結果の報告
- 三、講師 中小企業診断員 黒須靖之氏
県中小企業課 斎藤診断係長他
(聴講者四七名)

(二) 中小企業工場集団化計画説明会

- 一、とき 40・11・5日 17時～19時
- 二、ところ 第3会議室
- 三、主催 当所並に宇都宮市
- 四、内容 工場アパート譲渡制度について
- 五、講師 県中小企業課長 金子浩蔵氏他
(聴講者一八名)

(三) 第二回初等簿記講習会

- 一、とき 40・11・10～12日(3日間) 毎日18時～20時30分
- 二、ところ 第1会議室
- 三、主催 当所並に宇都宮青色申告会
- 四、内容 簿記の初歩から決算まで
- 五、講師 公認会計士 石島吉造氏
(聴講者六六名)

(四) 洋裁技能検定要領説明会

- 一、とき 40・11・11日 14時～16時
- 二、ところ 第1会議室
- 三、主催 当所並に県職業訓練課及び県職業訓練協会
- 四、内容 洋裁工技能検定実施要領について
- 五、講師 県職業訓練課 山本技師
(聴講者一二名)

(五) 労務管理ゼミナー

- 一、とき 40・11・12～13日 13時30分～17時
- 二、ところ 第1会議室
- 三、主催 当所並に宇都宮中小企業労務改善協議会
- 四、内容 (1) 中小企業の労務管理について
(2) 中小企業の賃金問題について
- 五、講師 渡辺経営労働研究所長 渡辺文三郎氏
(聴講者四四名)

(六) 来年度新規青色申告者に対する記帳要領説明会

- 一、とき 40・11・17日 13時～16時
- 二、ところ 第1会議室
- 三、主催 当所並に宇都宮税務署・宇都宮青色申告会
- 四、内容 青色申告記帳要領について
- 五、講師 宇都宮税務署青色指導官 高田正義氏
(聴講者四〇名)

(七) 税務講習会

- 一、とき 40・11・22日 14時～17時
- 二、ところ 栃木会館会議室
- 三、主催 当所並に栃木県・宇都宮青色申告会・栃木県

◆ 第 10 回 全 国 商 店 コ ン ク ー ル 受 賞 優 秀 店

御結婚とお誕生日祝に
化粧品と人形

人形・化粧・生花・茶の湯
各教室をご利用下さい☆
★年中無休の奉仕券進呈★

資生堂
ボカネックス

はつとり

宇都宮市オリオン通り 電話(4)3032番

農芸百貨

粕谷種苗

宇都宮市大町粕谷ビル

TEL(3)3494代

クスリと化粧品



宇都宮市馬場町3209

株式会社 **鈴木薬局**

社長 鈴木 金三郎
薬剤師 鈴木 健直
竹中 延子

業種	住所	氏名
書画	本町四〇四	石川美術店
骨董品	西二丁目一〇五	備つくし
手芸材料	西原町三三三	泉田酒店
酒類	宮本町四六	備足利銀行江曾島支店
銀行業	戸祭町一八五	小堀生花店
生花	北一の沢町一〇九	備増洲産業
防水建設 工事請負	一条町一三六	一条町駐車場
駐車場業	中埜田町三三	カシワギ理容所
理容業	大曾町一七	備共和自動車商会
自動車 修理販売	宿郷町九	金田商店
寝具卸		

当所新規会員の御紹介(敬称略)

- 一、とき 40・12・14日17・18日(3日間) 10時~12時
及13時~15時迄計五回
- 一、ところ 第一会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮税務署
- 一、内容 白色申告者に対し、青色申告の特典と、その要領を説明し、青色申告の実施を勧奨した。
- 一、講師 宇都宮税務署青色指導官 高田正義氏
(聴講者七三名)

(ロ) 白色申告者に対する

青色申告要領説明会

- 一、とき 40・11・30日~12・14日まで(8日間)
10時~16時
- 一、ところ 第一会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮税務署・宇都宮青色申告会
- 一、内容 決算要領について
- 一、講師 宇都宮税務署青色指導官 高田正義氏
(聴講者五〇九名)

(ハ) 青色申告決算要領説明会

- 一、とき 40・11・27日 18時~20時
- 一、ところ 丸ノ本店
- 一、主催 当所並に宇都宮市・宇都宮機械工業同志会
- 一、内容 工場アパート制度について
- 一、講師 市商工観光課振興係長 高山茂也氏他
(聴講者九名)

(ニ) 鉄工業者に対する工場アパート
制度説明会

- 一、内容 環境衛生同業組合協議会
税制とその特点
- 一、講師 全国青色申告会総連合事務局長 幡久夫氏
(聴講者五四名)

◆ 第10回全国商店コンクール受賞優秀店

毛糸・ボタン
手芸材料

セントラル毛糸 } 特約店
スキー毛糸 }

武田糸店

オリオン通り TEL.(3)5753

正しい化粧・楽しい毎日



千手町マスキン前
TEL (2)4 0 2 9

くすり・化粧品

宇都宮市一条町1156

中村薬局 有限会社

電話 (4) 4 5 7 2
6 0 2 7

製図機械	宿郷町 葵一	(有)	石川 ケース
製造業	下平出町 八四	(有)	鬼怒川燃料製作所
酒類	雀宮町 七〇	滝屋 商店	
小売業	泉町 六〇八	浜田 商事 (有)	
電機製品	花房町 一八〇	(有)	真田商店宇都宮支店
空回	旭二町 三四四	後藤 交易 (有)	
製造業	河原町 一、二〇	(有)	若月 商店
古物問屋	江野町 三、二八	(有)	鮎 常
飲食業	一条町 一、二五	(有)	河内屋 食堂
雑貨	東峰町 三〇六	(有)	増野 商店
販売業	泉町 八〇三	(有)	尾島 材木店
木材卸業	小幡一丁目 二八	(有)	稲沢 時計店
時計業	西一丁目 一七	(有)	パ リ ス
手芸材料	江曾島町 八五	東洋特紙工業(有)横川工場	
製紙業	北一の沢町 九〇三	(有)	阿部 紙器
紙造業	一の沢町 三三	(有)	小野モーターズ商会
自動車修理販売	旭二町 三、四	(有)	小林 電機店
電機製品販売	中河原町 九〇		石川 青果店
販売業			

宇都宮手形交換高

(単位千円)

年 月	手形枚数	金額
四十年十月	五三、六〇一	一五、三一八、八九五
十一月	六一、四三九	一六、六六四、八五七

不渡手形

年 月	手形枚数	金額
四十年十月	一、〇三八	六八、九三二
十一月	一、二二三	八四、八九〇

宇都宮銀行会(八行加盟) 預金貸付高

年 月	預金	貸付
四十年十月	六〇、二五六、四九九	三八、〇八八、三七三
十一月	六一、三一一、八九一	三七、七二二、九六八

宇都宮市中小商工業施設改善及び従業員宿舎建設資金融資状況

年 月	摘要	件数	金額
四十年十一月	申込承認	一七	一、〇三三、五五〇、〇〇〇
十二月	申込承認	一七	八、三五四、〇〇〇、〇〇〇

宇都宮市中小企業互助会 運転資金 融資状況

年 月	摘要	件数	金額
四十年十一月	申込承認	五七	一六、三四〇、〇〇〇
十二月	申込承認	二六	三、七〇一、〇〇〇

第十回全国商店・商店街コンクール 参加優秀商店表彰

不況ムードの折、商業の真価を發揮し、商業者のサービスの向上と、顧客の信頼感を一層高めるため、昨秋十月一ヶ月間を期日として、日商並びに各地商工会議所主催による恒例の全国商店・商店街コンクールが実施されました。当市の参加申込み商店に対し、中央審査委員会において厳重審査の結果、次の順位にて優秀商店街と商店が決定され、十二月十日午後二時三十分より、当所第三会議室において、受賞者に対し多数関係者臨席の上、表彰状(記念品)の伝達式が行なわれた。

通商産業大臣賞

千手町商店街 代表者 山村 周平

日本商工会議所会頭賞 馬場町三、〇二九 株式会社 鈴木 薬局

大町一五四 農芸百貨 粕谷 種苗

曲師町三、一四三 有限会社 はつとり

一条町一、一五六 有限会社 中村 薬局

千手町一九四 有限会社 みどりや化粧品店

一条町一、一五五 有限会社 武田 糸店

宮の秋まつり華やかに開催

恒例の宮の秋まつりは、不況ムード一掃を合言葉に、十一月十九日より二十五日まで(七日間)次のような多彩なプログラムを追って、華やかに開催されました。例年人気を集注する連合福引大売出しは、キャッチフレーズを「現金五万円が当たるポナナスプレゼントセール」として、ババ賞、ママ賞(各五千元)と共に、お客の幸運の夢をあと、例年を上回る売上げの上昇を示しました。

行事名	期間	会場
連合福引き大売出し・ポナナスプレゼントセール	期間中	市内参加加盟店
菊花品評会	〃	二荒山神社境内
武生特産打刃物展示即売会	20~21日	スポーツセンター
野口雨情童謡祭	21日	中央小学校
カナリヤ品評会	21日	太子会館
農産物品評会	20~22日	スポーツセンター

畜産共進会	20～21日	スポーツセンター
栃木県優良食品展示即売会	20～23日	東武デパート5階
林産物花卉種苗展示即売会	21～22日	スポーツセンター
計量ズバリ当てまショー	21～23日	東武デパート5階
フラワーカーパレード	23～24日	市内行進
ニューモデル自動車ショー	23日	中央小学校
世界花嫁大行進	23日	市内行進
栃木県木製品総合展示会	25～28日	東武デパート5階

◎オリオン通り商店街診断実施さる

当所並びに宇都宮市との共催にて、市内における商店街の環境整備改善の一施策として、近く商店街振興組合法による協同組合を設立し、全蓋アーケード建設を実施せんとする気運にある、オリオン通り商店街に対し、十月二十五日から二十六日までの二日間に亘って、中央専門診断員をして、各方面からの精密な診断が実施された。

この診断の結果報告書に基づき、別項(当所の動き)のとおり、十一月一日当所にて勧告会を開催、診断員に対し活発な質疑応答があつて、今後の同商店街の進展方策について熱心に種々検討され、得るところ大なるものがあつた。

◎当所事業運営の基盤を生む

各種開催会議経過詳報

(一) 常議員会

- 一、とき 40・11・2日 14時～16時
 一、ところ 第3会議室
 一、出席者 荒牧副会長、小保方・渡辺・野沢・柳田・福田(寛)・青木・坂本・鮎田(代)・箕輪・鈴木(善)・鈴木(良)・植木常議員・笠原・野中監事、以上15名

一、議案

- (1) 11月～12月当所事業予定について
 (2) 栃木県商工会議所議員大会表彰議員推せんについて
 (3) 当所有料自動車駐車場設置について
 (4) 新加入会員の加入承認について
 (5) 歩積両建の苦情相談所開設について

報告事項

- (1) 9月～10月当所事業結果について
 (2) 税務継続指導について

(二) 税務委員会

- 一、とき 40・11・5日 10時～12時
 一、ところ 第3会議室

一、出席者 木村(寛)副委員長・野沢・河合(健)委員

一、協議事項

- (1) 日商照会税務行政の簡素化・能率化に関する意見取

纏めについて
 (2) その他

(三) 地元工業との工場団地造成に関する協議会

- 一、とき 40・11・8日 15時～17時
 一、ところ 第3会議室
 一、出席者 福田工業部会長・谷村耕・菊地梅吉・加地栄太郎・熊倉新之助・小牧正弘・石川辰吉・松本博・湯沢七郎・石井良雄・(臨席者)市岡本経済部長ほか三名

一、協議事項

- (1) 地元工業の工業団地造成に関する資料調製について
 (2) その他

(四) 交通運輸部会

- 一、とき 40・11・12日 13時～15時
 一、ところ 第3会議室
 一、出席者 小平・赤塚・鈴木・大武正副部長・関東車体製作(株)・栃木貨物自動車(株)・宇都宮日産モーター(株)・(尚)鈴木自動車整備工場

一、協議事項

- (1) 常議員会より附託の当所有料駐車場規定について
 (2) 交通対策について
 (3) 自家用車庫建設資金融資について

(五) 金融部会

- 一、とき 40・11・15日 13時～14時
 一、ところ 第3会議室
 一、出席者 鈴木(善)副部長・第一銀行宇都宮支店長・足銀宇都宮支店・栃木相互銀行本店・栃中信・協和銀行・富士銀行・勤業銀行・日本信託銀行・大東相互銀行・常磐相互・茨城相互各支店・足銀市内各支店
 (臨席者) 関東財務局宇都宮財務部万理材課長ほか一名

一、協議事項

- (1) 年末金融対策について
 (2) 統一手形用紙制度について
 (3) その他

(六) 当所議員と金融機関との懇談会

- 一、とき 40・11・15日 14時～16時
 一、ところ 第1会議室
 一、出席者 当所側 野沢・小花・坂本・鮎田(代)・鈴木(善)・笠原・渡辺(貞)・竹石・中村(芳)・赤塚・増淵(代)
 金融機関 中小公庫・国民金融公庫・商工中金各支店長・保証協会・栃中信・栃木相互・常磐相互・茨城相互・勤銀各宇都宮支店・足

銀市内各支店

一、懇談事項

- (1) 統一手形用紙制度について
- (2) 年末金融対策について

(七) 広域都市対策委員会と市街地近代化整備委員会との合同連絡懇談会

- 一、とき 40・11・19日 13時～15時
- 一、ところ 第1会議室
- 一、出席者 当所側 小林・荒牧・石海副会長・高橋・上野(美)・鮎田(代)・増淵(代)・岩田・見当・福田(俊)・渡辺(長)・島野各委員
市側 田辺・渡辺(三)正副委員長・梶・松本・鈴木・増山・設楽・木村委員
臨席者 螺良・太田和市議会正副議長
- 一、協議事項
 - (1) 市公営自動車駐車場建設問題について
 - (2) 広域都市建設関係問題等について
 - (3) その他

(八) 運営委員会

- 一、とき 40・11・24日 14時～16時
- 一、ところ 第1会議室
- 一、出席者 鈴木副委員長・荒牧・木村・福田(新)・竹石・福田各委員
- 一、協議事項
 - (1) 会費の増額検討について
 - (2) 当所事業について
 - (3) その他

(九) 中小企業相談所運営委員会

- 一、とき 40・12・3日 13時～15時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 小倉・齋藤副委員長・木村・増淵・田代委員
・経営指導員全員
- 一、協議事項
 - (1) 本年度上半期の事業実績について
 - (2) 本年度下半期事業計画遂行について
 - (3) 来年度事業計画について
 - (4) 小規模事業の推進策について

(一〇) 企画委員会

- 一、とき 40・12・6日 13時～15時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 福田・渡辺・宮本正副委員長・田嶋・笹委員
- 一、協議事項
 - (1) 昭和41年度事業計画策定について
 - (2) 会費増額について
 - (3) 当所新春行事について

(一) 商業卸・小売合同部会

- 一、とき 40・12・7日 14時～16時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 卸関係 荒牧副会長・笠間・竹石副部長・杉村塗料(株)・カネボウ化粧品(株)
小売関係 坂本・増淵(幹)・中村(芳)・笹議員・東武デパート・富駅デパート
臨席者 宮畷阿久津交通課長ほか係官一名
- 一、協議事項
 - (1) 年末年始の交通対策について
 - (2) 明年度両部会事業計画について

(二) 議員懇談会

- 一、とき 40・12・17日 11時～14時
- 一、ところ 第1会議室
- 一、出席者 荒牧副会長・小保方・渡辺・横倉・田辺・野沢・柳田・福田(松)・青木・坂本・鮎田(代)・箕輪・鈴木(良)常議員・野中監事・小倉・笠間・亀田・竹石・中村(芳)・増淵(良)・松本・福田(三)・木村(明)・宮本・杉本・木村(繁)・小平・鈴木(勲)・田中・笹議員
臨席者 大野顧問
- 一、懇談事項
 - (1) 一月～二月当所事業予定について
 - (2) 会費増収検討について
 - (3) 新春行事について
- 報告事項
 - (1) 十一月当所事業結果について

注・懇談会終了後引続き当所顧問大野泉議の欧米視察帰朝談並びに同氏撮影の欧米風物記録映画を観賞す。

◎当所内に歩積・両建預金に関する

苦情相談所設置さる

すでに皆様ご承知のとおり、過大な歩積・両建預金の整理については、これまでも関係機関の努力によって、順調な成果をあげておりますが、歩積・両建預金は、ともすれば金融環境の変化によって影響され、また、拘束の有無等について複雑微妙な面を有しておりますので、今後とも従来の態勢を堅持して指導を行なうとともに、今般当所内に相談室を設けて、あらたにその苦情を一般から受付けることになりました。

苦情の受け相談は、毎週月曜日(午後一時～四時まで)です。から、ご本人が直接お申し出下さい。

宇都宮商工青年学級第三期開講のお知らせ

当所内に開設しております商工青年学級も、事業主各位の深い御理解と御協力のもとに、先般第二期を終了致しましたが、いよいよ一月十七日より三月七日迄の期間(毎週

第10回全国商店街 サービス・コンクール入賞!!

通産大臣賞・受賞商店街
宮の大通り・サービスセンター

千手町商店街



月・金の二日間)本年度最後のコースとして、第三期を開講致すことになりました。

本学級は御案内のとおり、市内の商工業に従事される、青少年の方々に対し、余暇を善用、職業および日常生活に直接必要な常識的な知識、簡単な技術をやさしく自然に習得させ、その資質の向上を図ることを目的として、毎年度期間を三期に分けて、各関係方面の絶大な協力を得て、それぞれ開講致しておりますのですが、第三期科目は特に日常生活上の基礎学習として、「自動車事故の処理」、「交通法規」、「やさしい心理学」、「テーブルマナー」等、実際の生活に必要な身近かな問題ばかりの十一科目をテーマとして(男女共学)開講致しますので、どうぞより一層の御理解を以て第二期迄の貴事業所従業員受講者の方々を、引き続き受講せしむると共に、第三期の新規受講申込みも歓迎致しておりますので、従業員各位の知識と技能を豊かにし、ひいては御事業の発展のためとよろしく御賢察頂き、ごしどし当所宛お申込み下さるようお願い申しあげております。

◎詳細につきましては、当所内中小企業相談所電(三〇七三宛、御遠慮なくお問い合わせ下さい。

実務相談室

協同組合になると金融が楽になるか

(問) 同業者の組合の会合で、協同組合を作ろうという話が盛りあがっておりますが、組合を結成すると、金融関係もたいへん楽になり、すべてが都合だという話でしたがそういう組合とは、一体どのようなものでしょうかお教え下さい。(市内B業者)

(答) あなたの属している組合は、おそらく同業者の親睦を主体とした、任意組合だと思いますが、もしそうだとしますと、その組合には特に法的な根拠はありません。組合

の会合で話題となっている協同組合とは、中小企業者が寄り、相援け大いに発展するための集りで、立派な法的根拠に基づいたものです。これは中小企業等協同組合法という法律によって設立された組合です。

従って任意に同業者が、自然発生的に集まったものでなく、確りとした気持で、お互に営業を盛んにし、然もその為に色々な事業をやっているというものです。ですからこの組合は、単なる同業者の親睦会のようなものではなく同業者が真剣になって集まり、且つ協同の利益の為にお互に励まし合ったり、具体的には金融事業或は材料の共同仕入、また、親企業との諸問題、従業員の問題等、自分一人ではとても出来ない、大きな、重要な仕事を協同の力でやっていますというものです。

ご質問の組合を結成すると、金融が楽になるということですが、これは協同組合の事業の一つとして、どの組合でもとりあげられているものです。なるほど事業経営にはお金はつきものです。まして最近のような深刻な経済事情の下では、確かに金融ということは、業者にとって大きな関心事です。組合を作る動機には、この金融事業の魅力にひかれて、結成されたものが非常に多いことも事実です。然しながら組合結成の本当の意味は、金融云々ということばかりでは、決して無いということをよく理解してかゝらないと、その期待は裏切られてしまいます。

ですから組合を結成した暁には、自分の工場なり、お店のつもりで一生涯組合に協力し、その経営に熱心な関心を、ひとりひとりの組合員が持つのであれば、組合設立の意義もなく、組合事業としての金融事業にしようまくいくわけにはいきません。

協同組合さえ設立すれば、明日からでも天からお金が降ってくるように思ったら、それこそ大きな間違いです。

ご承知のように金融ばかりでなく、すべての仕事には信用が財産です。確りとした信用の裏付もできないうちに、無理な希望をもったり要求したりしても、相手は信用しません。じっくり信用をつけることにまず努力すべきです。一度信用を獲得すれば、その後は比較的楽になるものです。たえず信用の保持と倍増に、最善の努力を傾注することが必要です。

組合には、代表として役員が選出されますが、一般に役員にすべてをまかせきりにして、少しも組合に関心をもたない組合員をしばしば見受けられますが、それではいけないと思います。組合員は自分達の大切な組合ですから、役員でないからといって、無関心であるようでは、折角設立してもその組合は、とてもうまくいくわけにはいきません。

(中小企業相談所 亀田経営指導員)

事務局日誌

十月

廿九日 秋まつり協力委員会開催 十時 当所第一会議室

荒牧会長他三十五名出席

廿九日 国税局に物申す会開催についての打合せ開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

十一月

一日 陸上自衛隊宇都宮駐とん部隊、海上自衛隊宇都宮教育航空群 十五周年記念式典 十一時 二荒山神社前 高橋副会長出席

二日 栃木県商工会議所連合会臨時専務理事々務局長会議開催 十時 婦人会館第二会議室 星局長出席 関東信越税理士会宇都宮部会所属税理士 星野準五郎氏黄綬褒章授章祝賀会開催 十一時 東武五階ホール 小川次長出席

三日 常議員会開催 一時三十分 当所第三会議室 荒牧副会長他十四名出席

四日 宇都宮市少年剣道大会開催 十時 二荒山神社前 楽殿前庭 藤生専務理事 星局長 小川次長出席 秋まつり福引打合せ開催 二時 当所第三会議室 荒牧会長他十一名出席

五日 税務委員会開催 十時 当所第三会議室 木村副委員長他二名出席 東洋信託銀行(株)開店披露式 二時 藤生専務理事出席

六日 横川信夫後援会栃木県総連合会昭和四十年定期総会開催 十時三十分 栃木会館大ホール 藤生専務理事出席

八日 宇都宮税務署納税功労者表彰式 一時三十分 栃木会館第七会議室 藤生専務理事出席 工業部会開催 三時 当所第三会議室 福田部会長他八名出席

八日～十日 経営指導員研修会(商業診断 内部部門)開催 催飯能商工会館大会議室 新部 亀田 大貫指導員出席

九日 栃木県商工会議所第二回議員大会開催 十時三十分 栃木会館ホール 小林副会長他三十三名出席 藤生専務理事第四回優良食品展示即売会審査員に委嘱さる。

十一日 山形商工会議所七日町商店街振興組合青年部当地商店街視察来所 一時 後藤会長他十一名

十二日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席 交通運輸部会開催 一時三十分 当所第三会議室 小平部会長他九名出席

十三日 栃木会館クラブ定例会開催 十二時三十分 クラブ室 藤生専務理事出席

十四日 第二十三回英文タイピスト技能検定試験開催 九時 宇商校

第十五回栃木県發明展覧会並に学生児童發明くふう展覧会審査会開催 十時 東武デパート五階ホール 星局長出席

宇大通り商店会創立總會開催 二時 美容学校

小川次長出席

十五日 栃木県食品工業協会第四回優良食品展示即売会第一部審査会開催 十時 栃木県農産食品工業指導所 藤生専務理事出席 金融部会開催 一時三十分 当所第三会議室 鈴木副部会長他十五名出席

十六日 栃木県商工会議所連合会定例専務理事々務局長会議開催 九時三十分 栃木会館第九会議室 小川次長出席

第十七日 第十二回宇都宮市町界町地名番整理審議会開催 十時 市役所公室前室 藤生専務理事出席

第十八日 第十五回栃木県發明展覧会並に学生児童發明くふう展覧会表彰式開催 十時 東武デパート五階ホール 星局長出席

十九日 宇都宮鉄道管理局設置促進本部役員会開催 十一時 市役所公室 藤生専務理事出席

二十日 栃木工業人倶楽部定例会開催 二時 栃木会館第一会議室 藤生専務理事出席

二十一日 日商第一二四回常議員会開催 二時 東商国際会議室 藤生専務理事出席

二十二日 關東商工会議所連合会幹事会開催 三時三十分 東商役員会議室 藤生専務理事出席

二十三日 十九日～二十五日 宮の秋まつり開催

二十四日 栃木県食品工業協会第四回優良食品展示即売会第二部審査会開催 十時 東武デパート五階食堂 藤生専務理事出席

二十五日 当所広域都市対策特別委員会開催 一時三十分 当所第一会議室 小林副会長他十九名出席

二十六日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催 二時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

二十七日 宇都宮融資制度の中融資条件の一部追加改正につき宇都宮市長 宇都宮市議会議長宛要望書提出す 宇都宮雨情祭開催 二時 中央小学校講堂 藤生専務理事出席

二十八日 栃木県食品工業協会第四回優良食品展示会表彰並に懇談会開催 十時 東武五階ホール 藤生専務理事出席

二十九日 宇都宮雨情会雨情碑建立委員会開催 十一時市公室前室 藤生専務理事出席

三十日 運営委員会開催 一時三十分 当所第一会議室 鈴木副委員長他七名出席

三十一日 宇都宮労働基準協会永年勤続従業員表彰式並に懇親会開催 四時 中村 星局長出席

三十二日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

三十三日 栃木県木製品総合展示会表彰式開催 四時 木材会館 星局長出席

三十四日 宇都宮觀光協会懇談会開催 五時 栃木荘 小川

次長出席

廿七日 宇都宮市青少年問題協議会開催 十時 自民会館
ホール 藤生専務理事出席

廿九日 栃木県青少年問題協議会開催 十時三十分 栃木
会館第十会議室 藤生専務理事出席
三菱石油(株)宇都宮北給油所開所式 十一時 藤生
専務理事出席

東北自動車道建設促進栃木県期成同盟会総会開催
十一時 農協会館大会議室 星局長出席
宇都宮市スポーツ振興審議会開催 二時 市公室
前室 藤生専務理事出席

三十日

十二月

三 日 中小企業相談所運営委員会開催 一時三十分 当
所第三会議室 小倉副委員長他四名出席

五 日 第二十二回計算尺技能検定試験施行 九時 宇工校
第十三回宇都宮市住居表示審議会開催 十時 市
役所正庁 藤生専務理事出席

六 日 第十九回栃木県公衆浴場審議会開催 一時 県衛
生民生委員会 藤生専務理事出席

企画委員会開催 一時三十分 当所第三会議室
福田(俊)委員長他四名出席

七 日 商業卸小売合同部会開催 一時三十分 当所第三
会議室 荒牧副会長他十名出席

八 日 宇都宮市工場誘致委員会開催 二時 市役所正庁
藤生専務理事出席

九 日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催
十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

栃木工業人倶楽部十二月例会開催 一時三十分
栃木会館第五会議室 藤生専務理事出席

十 日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時
当所第三会議室 藤生専務理事出席

東京電力(株)栃木支店サービス懇談会開催 十時
東電会議室 藤生専務理事出席

栃木県宇都宮保健所食品衛生優良店舗審査会開催
十時三十分 保健所所長室星局長出席

十一 日 日本信託銀行(株)宇都宮支店十周年記念パーティ開
催 十二時 レストラン三笠 藤生専務理事出席

十三 日 宇都宮市労政事務所栃木県労働問題審議会専門委
員会開催 十時 みくら山会館 藤生専務理事出席

十四 日 栃木県商工会議所連合会定例専務理事事務局長会
議開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事星
局長出席

十五日 日商第一二五回常議員会開催 一時 東商第一二
会議室 藤生専務理事出席

十七 日 (株)アサヒタクシー開店披露式 十時 星局長出席
議員懇談会開催 十一時 当所第一会議室 荒牧
副会長他三十名出席

二十 日 栃木行政監察局行政相談委員連絡会開催 一時
栃木行政監察局 藤生専務理事出席

正

賀

中	小	企	業	金	融	公	庫	宇	都	宮	支	店			
栃	木	県	商	工	会	議	所	連	合	会					
宇	都	宮	商	工	会	議	所	中	小	企	業	相	談	所	
宇	都	宮	市	商	店	街	連	盟							
宇	都	宮	市	中	小	企	業	互	助	会					
宇	都	宮	中	小	企	業	労	務	改	善	協	議	会		
栃	木	県	青	色	申	告	会	連	合	会					
宇	都	宮	青	色	申	告	会								
宇	都	宮	青	年	会	議	所								
宇	都	宮	市	計	量	普	及	協	会						
宇	都	宮	市	計	量	普	及	協	会						
宇	都	宮	商	工	会	議	所	失	業	保	險	事	務	組	合
全	日	本	製	綿	協	同	組	合	栃	木	県	支	部	合	
栃	木	県	製	綿	協	同	組	合	業	組	支	部	合		
竜	門	社	宇	都	宮	支	部								

◆事務所は宇都宮商工会議所内 電話(3)3,071~3,074

小売物価調査報告表

(昭和四十年十二月現在)

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格		
穀類・粉製品	うるち米(配給)	1 kg	109.50	野菜・果実	大根	1 kg	20	畜産食品	牛肉	100 g	90	加食料工品	竹輪	100 g	10		
	"(非配給)	"	132		キャベツ	"	30		豚肉	"	80		たくあん	"	8		
	"(外米)	"	—		ねぎ	"	40		牛乳	180cc	16	菓子	ビスケット	1包	100		
	"(準内地米)	"	94		玉ねぎ	"	70		鶏卵	100 g	26		キャラメル	1両	20		
	もち米	"	133.50		りんご	"	—		バター	1両	180		ドロップ	100 g	25		
	精麦	"	60		みかん	"	100		調味料	醤油	1本		225	せんべい	"	33	
	小麦粉	"	60		水産食料品	まぐろ	100 g			20	味噌	1 kg	115	嗜好品	清酒	1本	510
	小麦豆	100 g	30			さば	"			10	化学調味料	1かん	190		ビール	"	120
	食パン	"	10			いわし	"			—	砂糖	1 kg	130		焼酎	"	345
	干うどん	"	7			いか	"		12	食用油	1ℓ	180	ウイスキー		"	300	
野菜果実	かんしょ	1 kg	50	塩さけ		"	60	加食料工品	豆腐	100 g	6	ジュース	"	300			
	ばれいしょ	"	40	煮干のり		"	35		豆油	"	30	緑茶	100 g	40			
							1帖(10枚)		170								
区分	品目	単位	価格	区分		品目	単位		価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格
嗜好品	紅茶	1かん	150	織品		作業服	1着	1,900	燃料	木炭	1俵	650	雑品	洗濯せっけん	1袋	450	
	たばこ(いこい)	1両	50			メリヤスシャツ	1枚	200		まき	1束	80		クリーム	1個	120	
織品	晒木綿	1m	26		男子ワイシャツ	"	800	石炭		1叭	195	新聞		1ヶ月	580		
	ポプリン	"	100		男子くつ下	1足	180	れん炭		1袋	330	男子革靴		1足	3,000		
	キャラコ	"	85	婦人くつ下	"	400	ガソリン	1ℓ	48	運動靴	"	300					
	ネル地	"	100	毛糸	500 g	1,500	家庭用機械器具	テレビ	1台	52,000	げた	"		380			
	サージ	"	1,580	打綿	1本	1,200		電気洗濯機	"	23,000	ちり紙	100枚		17			
	オーバー地	"	—	建築材料	杉角材	1立方m		24,000	電球	1個	55	ノート		1冊	20		
	富士絹	"	350		杉板材	1平方m		180	自転車	1台	16,000	飯茶わん		1個	20		
	ナイロンサージ	"	250		セメント	1袋	330	ミシン	"	28,000	なべ	"		490			
男子背広服	1着	10,000	くぎ		100 g	7	時計	1個	4,500	マッチ	1袋(10箱)	45					
男子学生服	"	3,600	畳表	1枚	430	雑品	感冒薬	1箱(25錠)	120	鉛筆	1本	10					
			板ガラス	"	60		栄養剤	"(30錠)	220	フィルム	"	180					

宇都宮の全商工業者は一人残らず
会員倍加運動実施中
 商工会議所の会員になりましょう

◇商工会議所は夫々の地域の経済発展を目指して事業を図っています。
 ◇商工会議所は商工業者のサービス機関です。
 ◇商工業者の世論を商工会議所に集めましょう。